

日置市応急対策備蓄計画

平成28年7月

(令和7年度改訂版)

日置市

沿革 改訂 令和元年6月13日
令和2年5月22日
令和3年6月1日
令和4年6月1日
令和5年6月1日
令和6年5月31日
令和7年5月30日
(予定)

目次

1 総則	1
1-1 本計画の位置付け	1
1-2 基本的な考え方	1
1-3 被害想定	2
2 備蓄品目及び数量	3
2-1 対象者・期間	3
2-2 備蓄品目	3
2-3 目標数量	6
3 整備計画	8
3-1 備蓄物資の購入	8
3-2 備蓄物資の更新・管理	8
4 物資調達体制の整備	9
4-1 流通在庫備蓄の推進	9
4-2 救援物資の受け入れ体制の整備	10
5 住民・企業による備蓄の推進	11
5-1 家庭内備蓄	11
5-2 企業内備蓄	11
6 備蓄倉庫	13
6-1 備蓄倉庫の種類と機能	13
6-2 備蓄倉庫の整備	13
6-3 備蓄倉庫一覧	14
参考資料	16
資料1 目標数量の設定根拠	16
資料2 備蓄物資の現状	20

1 総則

1-1 本計画の位置付け

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、地震の規模がマグニチュード 9.0、最大震度 7 で、日本周辺における観測史上最大の地震であり、地震の揺れや津波、液状化現象などによって甚大な人的被害や建物被害が発生したほか、電気、ガス、水道等のライフラインが寸断された。

また、道路、鉄道、空港なども大きな被害を受けたことから、物資等の流通機能が停滞し、長期間に渡って物資等の不足状態が続いた。

この東日本大震災の発生は、各種の防災対策の整備に大きな教訓を与えることとなり、これ以降、全国の自治体で防災対策の充実が図られているところである。

このような背景を踏まえ、本計画は、日置市地域防災計画に基づき、大規模災害時にも対応できる食糧、生活用品及び資機材の備蓄体制を整備することを目的に策定するものである。

なお、本計画は災害被害想定や社会情勢等の変化により適宜修正していくものとする。

1-2 基本的な考え方

本市の備蓄体制は「自助」「共助」「公助」の理念に基づき、市が行う行政備蓄、市民が行う家庭内備蓄、事業者が行う企業内備蓄、市内の企業等と協力して行う流通在庫備蓄のそれぞれを推進することにより、市民・企業・行政が一体となって整備していくものとする。

■ 備蓄体制の種類と概要

備蓄体制	概要
行政備蓄	<ul style="list-style-type: none">● 市が平時から行う食糧等の備蓄をいう。● 大規模災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として平時から食糧、生活用品及び資機材の備蓄を行う必要がある。
家庭内備蓄	<ul style="list-style-type: none">● 市民が自らの家庭内において行う 7 日分程度の食糧や飲料水等の災害時に必要な物資の備蓄をいう。● 災害時には被災地域における流通機能が停止するなど、外部からの救助物資が届きにくい状態になることが想定されることから、各家庭における備蓄を推進していく必要がある。
企業内備蓄	<ul style="list-style-type: none">● 事業者が企業内において行う数日分の食糧や飲料水の備蓄をいう。● 家庭内備蓄と同様、各自事業者における備蓄を推進していく必要がある。
流通在庫備蓄	<ul style="list-style-type: none">● 市内の食糧品店などの事業者と市があらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資（食糧や生活用品等）を調達することをいう。● この流通在庫備蓄を活用していくことによって、市全体の備蓄体制の構築に努めるとともに、平時から事業者等との協定書を積極的に締結することによって、円滑な物資の調達体制を確保していく必要がある。

1-3 被害想定

「鹿児島県地震等災害被害予測調査（平成 26 年 2 月）」において、より多くの避難者が想定されたのは、鹿児島県西部直下を震源とする地震であり、被害想定は次の通りである。

■ 本市における地震災害被害想定（震源：鹿児島県西部直下）

項目		被害想定	
想定震度		最大震度 6 強	
建物被害	全壊・焼失棟数（冬 18 時）	2,100 棟	
	半壊棟数（冬 18 時）	5,100 棟	
ライフライン施設の被害	上水道（冬 18 時）【被災 1 日後】	【断水人口】 14,600 人	
	下水道（冬 18 時）【被災 1 日後】	【支障人口】 640 人	
	電力施設（冬 18 時）【被災 1 日後】	【停電軒数】 560 軒	
	プロパンガスを除くガス（冬 18 時）【被災 1 日後】	【供給停止戸数】 60 戸	
交通施設被害	高速道路、一般道路	40 箇所	
	鉄道	30 箇所	
	漁港・漁湾	【その他係留施設】 10 箇所	
人的被害	死者数（冬深夜）	60 人	
	負傷者数（冬深夜）	580 人	
	重傷者数（冬深夜）	330 人	
生活支障の被害	避難者数（冬 18 時）【被災 1 日後】	避難所	2,000 人
		避難所外	1,400 人
		計	3,400 人
	帰宅困難者		2,500 人

「鹿児島県地震等災害被害予測調査（平成 26 年 2 月）」より

2 備蓄品目及び数量

2-1 対象者・期間

(1) 対象者

「鹿児島県地震等災害被害予測調査（平成26年2月）」を踏まえ、支給対象者は以下の通りとする。

対象者	人数	備考
避難者	3,400人	被災1日目の避難者数
災害対策業務要員 (※以下、「市職員」とする)	500人	R4.4.1現在
帰宅困難者	2,500人	

(2) 期間

備蓄物資による支給対象期間は次の通りとする。

対象者	期間	考え方
避難者	3日分	被災4日目以降は、関係機関等からの物資の調達が可能となるものと想定し、それまでの3日分の物資を備蓄。
市職員		
帰宅困難者	1晩分	徒歩による帰宅が可能となるまでの間（1晩）に必要な物資を備蓄。

2-2 備蓄品目

備蓄品目は以下の通りとする。

(1) 食糧

品目	対象者			適要
	避難者	市職員	帰宅困難者	
アルファ化米等	○	○	○	賞味期限5年及び7年
保存用乾パン等	○	○		保存期限5年
飲料水（2ℓ）	○			1人1日3ℓ、2ℓペットボトルで備蓄 保存期限10年及び12年
飲料水（0.5ℓ）	○	○	○	0.5ℓペットボトルで備蓄 保存期限10年及び12年
粉ミルク	○			

(2) 生活用品

品目	対象者			概要
	避難者	市職員	帰宅 困難者	
災害用不織布毛布	○	○	○	
大人用おむつ	○			
乳幼児用おむつ	○			
生理用品	○			
哺乳瓶 (使い捨て哺乳瓶タイプ)	○			
ワンタッチ組立式 トイレ	○			
ラップ式トイレ	○			
トイレットペーパー	○			
簡易トイレ(凝固・衛生袋)	○			
タオル	○			
ハンドタオル	○			
非接触型体温計	○			
手指消毒液	○			

(3) 資機材

品目	摘要
投光器	バルーン式投光器
発電機	インバーター式、ガソリン・カセットガス式
コードリール	30m
リヤカー	ノーパンクタイプ
車いす	ノーパンクタイプ
給水袋	6ℓ用
土のう袋	
段ボールベッド	
段ボール間仕切り (2畳)	2畳
段ボール間仕切り (1畳)	1畳
ブルーシート	7.2m×7.2m
マイルディシート	幅 910mm長さ 20m
パーティション	ワンタッチ組立式、W2, 100×D2, 100×H1, 200 ナイロン 210D 防災抗菌加工
プライベートテント	災害対策用、W2, 100×D2, 100×H2, 200 ナイロン 210D 防災抗菌加工
簡易トイレテント	ワンタッチ組立式、W1, 200×D1, 200×H1, 900 ナイロン 210D 防災加工
簡易ベッド	折り畳み式、沈み込み防止、抗菌・撥水加工
扇風機	業務用扇風機、①ファン (100cm以上)、角度調整機能付き、②ファン (45cm以上)、角度調整機能付き
防災倉庫	床面積 9.3㎡以上 10㎡未満、断熱構造、転倒防止、収納棚 2段、文字入れ
かご台車	折り畳み式
充電式照明	屋内・屋外兼用、全周囲点灯型、ACアダプター付
蓄電池	リチウムイオン電池 (日本製) 蓄電池 容量：900Wh 太陽光パネル付属
LED 充電式スタンドライト	LED スタンドライト、防じん・防滴 IP63/64 適用、照度 1,150 ルクス、付属品：リチウムイオンバッテリー 14.4V×2個、専用充電器、専用ソフトツールバッグ
スポットクーラー	電源 100V、周波数 50/60Hz、消費電力 1230W、冷房能力 2.5kw、風量調整機能、伸縮可能排熱ダクト及びドレン、エアフィルター、キャスター付き

2-3 目標数量

各品目の目標数量は以下の通りである。なお、それぞれの設定根拠については、「資料1 目標数量の設定根拠」に記載している。

(1) 食糧

品目	単位	合計	対象者		
			避難者	市職員	帰宅困難者
アルファ化米等	食	24,900	20,400	2,000	2,500
保存用乾パン等	食	10,700	10,200	500	
飲料水 (2ℓ)	ℓ	20,400 (10,200本)	20,400		
飲料水 (0.5ℓ)	ℓ	15,950 (31,900本)	10,200	4,500	1,250
粉ミルク	g	9,360	9,360		

(2) 生活用品

品目	単位	合計	対象者		
			避難者	市職員	帰宅困難者
災害用不織布毛布	枚	6,400	3,400	500	2,500
大人用おむつ	パック	34	34		
乳幼児用おむつ	パック	79	79		
生理用品	パック	847	847		
哺乳瓶 (使い捨て哺乳瓶タイプ)	セット	72	72		
ワンタッチ組立式トイレ	組	24	24		
ラップ式トイレ	組	50	50		
トイレトーパー	個	329	329		
簡易トイレ (凝固・衛生袋)	枚	19,728	19,728		
タオル	枚	250	250		
ハンドタオル	枚	550	550		
非接触型体温計	枚	50	50		
手指消毒液	枚	100	100		

(3) 資機材

品目	単位	数量
投光器	台	70
発電機	台	70
コードリール	台	115
リヤカー	台	36
車いす	台	50
給水袋	枚	1,500
土のう袋	枚	3,000
段ボール間仕切り (2 畳)	セット	7
段ボール間仕切り (1 畳)	セット	10
ブルーシート	枚	15
マイルディシート	本	15
パーテーション	張	540
プライベートルームテント	張	70
簡易トイレテント	張	24
ラップ式トイレテント	台	50
簡易ベッド	台	370
扇風機	台	120
防災倉庫	台	50
かご台車	台	127
蓄電池	台	54
LED 充電式スタンドライト	台	50
スポットクーラー	台	30

3 整備計画

3-1 備蓄物資の購入

目標数量の達成に向けて、各物資を計画的に購入する。

3-2 備蓄物資の更新・管理

(1) 賞味（消費）期限がある物資

賞味（消費）期限や保存期限がある物資については、期限を超えないよう毎年更新を行うものとする。

なお、期限まで1年を切った物資は、自主防災組織の訓練や啓発講座の啓発物として配布する等、有効活用を図る。

(2) 賞味（消費）期限がない物資

年に1回、保存状況、衛生面、耐用年数等を考慮しながら計画的に更新するとともに、災害時でも速やかに対応できるよう、数量点検や目視確認などを行い、適切な管理を行う。

毛布については、真空パック梱包で長期間保存できるものを購入するとともに、購入から10年以上経過したものについては、毎年度、定量ずつ洗浄及び再梱包処理を行う。

備蓄物資として適さなくなったものは、可能な限り再利用する。

4 物資調達体制の整備

4-1 流通在庫備蓄の推進

本市では、企業等とあらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資を調達する体制（流通在庫備蓄）を整えている。

現在の流通在庫備蓄に関する協定の締結状況は下表の通りであり、今後も、流通在庫備蓄の充実に向けて新たな協定の締結に努める。

また、より実効的な物資の確保を図るために、必要に応じて、締結済みの協定内容の検証・見直しを行うとともに、いざというときに有効に機能するよう、円滑な供給体制の確保を図る。

■ 流通在庫備蓄に関する協定の締結状況

No.	協定名	協定内容	協定先
1	災害時における救援物資提供に関する協定	飲料水の供給	コカ・コーラウエスト株式会社
2	災害時における救援物資提供に関する協定	飲料水の供給	サントリービバレッジサービス株式会社
3	大規模災害時におけるLPガス等の供給に関する協定	LPガス等の調達及び運搬	鹿児島県LPガス協会川薩支部及び同支部日置分会
4	災害時における物資の供給に関する協定	段ボール製簡易ベット等の供給	日之出紙器工業株式会社
5	災害時における食料等物資の供給に関する協定	食料等物資の供給協力	生活協同組合コープかごしま
6	災害時における物資の供給に関する協定	必要な物資の供給及び運搬	NPO 法人コメリ災害対策センター
7	災害時における医薬品等物資の供給協力に関する協定	医薬品等の供給	株式会社コスモス
8	災害時における燃料供給等に関する協定	燃料等の供給	鹿児島県石油商業組合日置支部
9	災害時における地下水の供給協力に関する協定	飲料水の供給	松下 武成
10	災害時におけるレンタル機材の供給協力に関する協定	レンタル機材の優先供給及び運搬	株式会社アクティオ
11	災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定	支援物資の受入及び避難所等への配送	佐川急便株式会社
12	災害時におけるユニットハウス等の物資の供給協力に関する協定	移動式ユニットハウス等の優先供給及び運搬	三協フロンテア株式会社

4-2 救援物資の受け入れ体制の整備

災害時には、国、県、その他の自治体や関係機関、個人などから多数の救援物資が届けられることが予想される。

東日本大震災の事例では、大量に届けられた救援物資の管理・被災者への配布が円滑に行われなかったという反省があったことを踏まえ、物資集積拠点の確保、届けられた物資の仕分けや在庫管理を行う体制の確保、避難所等における物資の需要把握及び配送等を円滑に行える体制の確保等、救援物資の受け入れ体制の整備を図る。

受け入れ体制の整備に当たっては、国や県、近隣自治体との連携・協力を努めるほか、救援物資の輸送や在庫管理等の業務を円滑に行うためには、物流計画の専門家や物流業務に精通した民間事業者の知識・ノウハウや施設等を活用することが有効であることから、物流企業との連携に努める。

■ 救援物資の調達・受入れ・配送等に関する協定締結一覧

No.	協定名	協定内容	協定先
1	鹿児島県及び県内市町村間の災害時相互応援協定	・食糧、飲料水、生活用品、資機材等の提供	鹿児島県、 県内市町村
2	持続可能な地域創造ネットワークを構成する市区町村の災害時における相互支援に関する協定	・食糧、飲料水、生活用品、資機材等の提供	県外の 30 市町
3	災害時における物資の物流拠点の協力に関する協定	・物流拠点となる施設の提供 ・物流拠点等の荷捌き業務に関する必要となる人員の派遣及び資機材の提供	さつま日置農業協同組合
4	災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定	・保有又は管理する移動式宿泊施設等の優先的な提供 ・移動式宿泊施設等の運営への協力	株式会社 デベロップ
5	災害時におけるレンタル機材の供給協力に関する協定	・レンタル機材の優先供給及び運搬	株式会社 アクテイオ
6	災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定	・支援物資の受入及び避難所等への配送	佐川急便株式会社
7	災害時におけるユニットハウス等の物資の供給協力に関する協定	・移動式ユニットハウス等の優先供給及び運搬	三協フロンテア株式会社

5 住民・企業による備蓄の推進

5-1 家庭内備蓄

家庭内備蓄を推進し、住民に対し、備蓄の意義や必要性、備蓄における留意事項を継続的に広報する。

広報内容は以下の通りである。

- 7日分程度の食糧、飲料水の備蓄に努めること。
- 飲料水は1人1日当たり3ℓが目安。
- 特別に災害用食糧を用意しなくても、普段購入しているものを上手に活用することでまかなえること。
- 栄養バランスに配慮し、かつ家族の好みがあうものを普段から購入するよう心掛けること。
- 備蓄食糧の条件、備蓄に適した物資。(次頁参照)
- 3日分程度の食糧を含む備蓄品をリュックサック等にまとめて、災害発生時にすぐに取り出せる場所に保管すること。
- 備蓄品を定期的に確認・更新すること。
- 避難所では、各家庭で普段使っているものが役立つので、活用できそうなものを日頃から確認しておくこと。(例：鍋・窯、カセットコンロ、アウトドア用品、バケツ、毛布・寝袋)

5-2 企業内備蓄

家庭内備蓄と同様、企業内備蓄を推進し、市内の事業所等に対する啓発に努める。

■ 事業所等で備蓄することが望ましいもの

区分	品目	内容
事業所等における備蓄	食糧・飲料水	次頁参照。※定期的な更新が必要。
	資機材	医薬品、携帯トイレ、防止シート、テント、ラジオ、乾電池、ヘルメット、軍手、長靴、毛布、自転車など ※保管場所は、取り出す時の容易さ、耐震性、分散化を考慮する。
従業員(個人)で用意することが望ましいもの	食糧・生活用品・資機材等	地図、懐中電灯、防寒着、手袋、歩きやすい靴、携帯食糧、飲料水、携帯ラジオ

■ 備蓄食糧の条件

- 日常生活にも使え、なおかつ長期間保存に耐えられるもの。
- 調理にあまり手間のかからないもの。
- 持ち運びの便利なもの。
- 必要最小限のエネルギーや栄養素が確保できるもの。

■ 備蓄に適した物資（例）

区分		内容			
食糧	主食	<input type="checkbox"/> 米★ <input type="checkbox"/> アルファ米★ <input type="checkbox"/> レトルト主食（白米、白粥等） <input type="checkbox"/> 冷凍おにぎり <input type="checkbox"/> 個包装もち★ <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> クラッカー、クッキー <input type="checkbox"/> ビスケット	<input type="checkbox"/> 粉類（小麦粉、ホットケーキミックス）★ <input type="checkbox"/> 冷凍めん <input type="checkbox"/> 即席めん★ <input type="checkbox"/> 乾めん（うどん、そば、そうめん）★ <input type="checkbox"/> スパゲッティ★ <input type="checkbox"/> マカロニ★ <input type="checkbox"/> ビーフン★ <input type="checkbox"/> シリアル		
	主菜	<input type="checkbox"/> 魚・肉缶詰（味付け、水煮） <input type="checkbox"/> レトルト肉料理	<input type="checkbox"/> シチュー類缶詰 <input type="checkbox"/> 高野豆腐★		
	副菜	<input type="checkbox"/> 野菜類煮物缶詰 <input type="checkbox"/> サラダ缶詰 <input type="checkbox"/> フリーズドライ食品（野菜、豆類）★ <input type="checkbox"/> カレー、シチュー（缶、レトルト） <input type="checkbox"/> インスタントみそ汁★	<input type="checkbox"/> 梅干し、らっきょう等の漬物 <input type="checkbox"/> 乾物類★ <input type="checkbox"/> チーズ <input type="checkbox"/> 干し芋		
	調味料	<input type="checkbox"/> ビン入り塩 <input type="checkbox"/> 調味料パック（味噌、塩、ソース等） <input type="checkbox"/> フリーズドライ食品（味噌、醤油）★	<input type="checkbox"/> コンソメ★ <input type="checkbox"/> 胡麻 <input type="checkbox"/> 胡椒		
	嗜好品	<input type="checkbox"/> 羊羹 <input type="checkbox"/> 飴 <input type="checkbox"/> チョコレート <input type="checkbox"/> ティーバッグ★	<input type="checkbox"/> 果物缶詰 <input type="checkbox"/> スナック菓子 <input type="checkbox"/> ふりかけ		
	飲料	<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> お茶類（ペットボトル、缶） <input type="checkbox"/> スポーツ飲料 <input type="checkbox"/> ロングライフ牛乳 <input type="checkbox"/> スキムミルク	<input type="checkbox"/> トマトジュース <input type="checkbox"/> 野菜ジュース <input type="checkbox"/> フルーツジュース <input type="checkbox"/> スープ缶		
	その他	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、ベビーフード等、乳幼児や高齢者が食べられるもの★			
	その他の物資	<input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 割り箸、紙皿	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 紙コップ	<input type="checkbox"/> 救急医薬品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 携帯トイレ

※★がついている食糧はお水やお湯が必要。カセットコンロ及び燃料（カセットボンベ）を用意しておく役立つ。

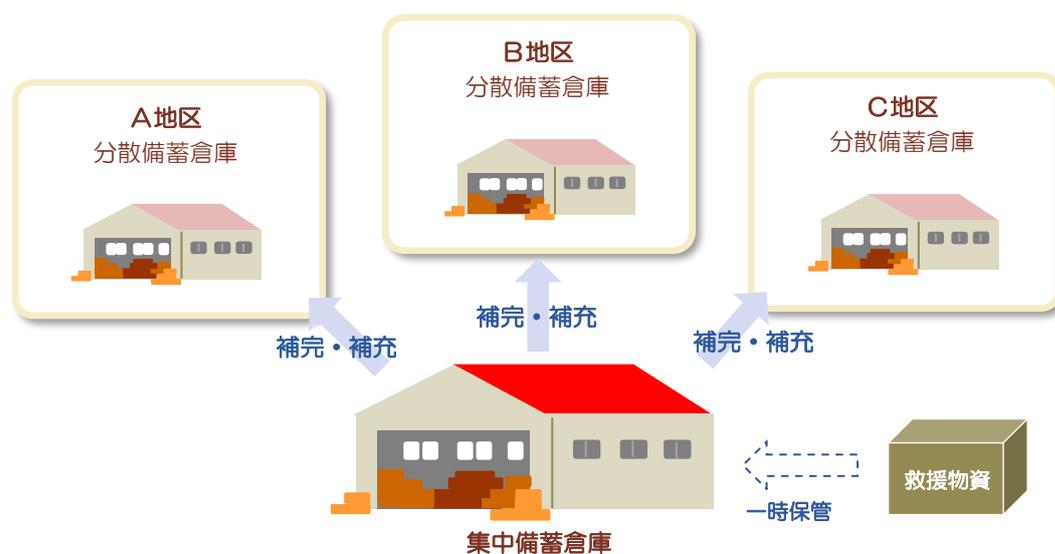
6 備蓄倉庫

6-1 備蓄倉庫の種類と機能

備蓄倉庫には、分散備蓄倉庫と集中備蓄倉庫の2種類がある。それぞれの概要は以下の通りである。

■ 備蓄倉庫の種類と概要

種類	概要
分散備蓄倉庫	<ul style="list-style-type: none">● 災害時、対象者に対して速やかに物資が配布できるよう、各地区に整備する倉庫。● 指定避難所の空きスペース等を含む。● 原則として、当該地区住民を対象とする。
集中備蓄倉庫	<ul style="list-style-type: none">● 避難者の多い避難所等への物資の補完、補充を主な目的として、一定量の備蓄を集中的に行うために整備する倉庫。● 原則として、市内全域の住民を対象とする。● 災害時には、救援物資の一時保管場所としても使用する。



6-2 備蓄倉庫の整備

(1) 分散備蓄倉庫

各支社及び指定避難所を中心に、各地区への分散備蓄倉庫の整備を推進する。また、指定避難所の空きスペース等を備蓄場所として活用することも検討する。

(2) 集中備蓄倉庫

多様な災害に対応できるよう、各種災害からの安全性、避難者数、避難所へのアクセス、分散備蓄倉庫の整備状況等を踏まえつつ、必要に応じて集中備蓄倉庫の整備を推進する。

6-3 備蓄倉庫一覧

備蓄倉庫の整備状況は以下の通りである。

■ 分散備蓄倉庫一覧

No.	名称	地域	所在地	施設名	電話番号
1	東市来支所備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町長里87番地1	東市来支所	099-274-2111
2	日吉支所備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町日置377番地1	日吉支所	099-292-2111
3	吹上支所備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町中原2847番地	吹上支所	099-296-2111
4	日新備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町山田308番地2	日新地区公民館	099-292-2312
5	坊野防災備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町田尻4710番地5	坊野防災備蓄倉庫	099-296-2111

■ 集中備蓄倉庫一覧

No.	名称	地域	所在地	施設名	電話番号
1	日置市備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町日置1205番地1	旧日吉デイサービスセンター	099-248-9401
2	東市来ドーム防災備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町伊作田1037番地2	東市来ドーム	099-274-0405

■ 避難所備蓄倉庫一覽

No.	名称	地域	所在地	施設名	電話番号
1	上市来地区公民館備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町養母11393-1	上市来地区公民館	099-274-3665
2	高山地区公民館備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町養母15819-4	高山地区公民館	099-274-9856
3	湯田地区公民館備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町湯田3299-1	湯田地区公民館	099-274-2863
4	伊作田地区公民館備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町伊作田4318	伊作田地区公民館	099-274-9870
5	美山地区公民館備蓄倉庫	東市来	日置市東市来町美山1690-4	美山地区公民館	099-274-4370
6	飯牟礼地区公民館備蓄倉庫	伊集院	日置市伊集院町飯牟礼910	飯牟礼地区公民館	099-273-1632
7	土橋小学校備蓄倉庫（体育館）	伊集院	日置市伊集院町土橋1377	土橋小学校	099-273-9331
8	伊集院北地区公民館備蓄倉庫	伊集院	日置市伊集院町下神殿1147-1	伊集院北地区公民館	099-273-0769
9	妙円寺地区公民館備蓄倉庫	伊集院	日置市伊集院町妙円寺1-2200-793	妙円寺地区公民館	099-272-4550
10	日置市中央公民館備蓄倉庫	伊集院	日置市伊集院町郡一丁目100	日置市中央公民館	099-273-1919
11	日新地区公民館備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町山田308-2	日新地区公民館	099-292-2312
12	日吉中央公民館備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町日置377-1	日吉中央公民館	099-292-2111
13	吉利地区公民館備蓄倉庫	日吉	日置市日吉町吉利4329	吉利地区公民館	099-292-3615
14	吹上浜公園体育館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町中原1353-2	吹上浜公園	099-296-3077
15	吹上中央公民館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町中原2568	吹上中央公民館	099-296-2124
16	吹上地区公民館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町入来290	吹上地区公民館	099-296-2083
17	花田小学校備蓄倉庫（校舎）	吹上	日置市吹上町田尻239	花田小学校	099-296-2149
18	野首地区公民館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町田尻6037-1	野首地区公民館	099-296-2127
19	藤元地区公民館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町与倉3127-8	藤元地区公民館	099-296-2896
20	平鹿倉地区公民館備蓄倉庫	吹上	日置市吹上町湯之浦5356-6	平鹿倉地区公民館	099-296-2889
21	和田小学校備蓄倉庫（校舎）	吹上	日置市吹上町和田2104	和田小学校	099-296-2134

参考資料

資料1 目標数量の設定根拠

(1) 食糧

品目	単位	合計	摘要	対象者	算出方法	目標数量	
アルファ化米等	食	24,900	賞味期限5年以上 アルファ米、レトルト 食品、缶詰	避難者	全員 (100%)	$3,400人 \times 2食 \times 3日$	20,400
				市職員	全員 (100%)	$500人 \times 2食 \times 2日$	2,000
				帰宅困難者	全員 (100%)	$2,500人 \times 1食$	2,500
保存用乾パン等	食	10,700	賞味期限5年以上 パン、クッキー	避難者	全員 (100%)	$3,400人 \times 1食 \times 3日$	10,200
				市職員	全員 (100%)	$500人 \times 1食 \times 1日$	500
飲料水 (2ℓ)	ℓ	20,400 (10,200本)	2ℓペットボトルで備蓄 ※1人1日3ℓ	避難者	全員 (100%)	$3,400人 \times 2ℓ \times 3日$	20,400
飲料水 (0.5ℓ)	ℓ	15,950 (31,900本)	500mlペットボトルで 備蓄 ※1人1日3ℓ	避難者	全員 (100%)	$3,400人 \times 1ℓ \times 3日$	10,200
				市職員	全員 (100%)	$500人 \times 3ℓ \times 3日$	4,500
				帰宅困難者	全員 (100%)	$2,500人 \times 0.5ℓ$	1,250
粉ミルク	g	9,360		避難者	0歳の乳幼児 (0.7%)	$3,400人 \times 0.7\% \times 130g \times 3日$	9,360

(2) 生活用品

品目	単位	合計	摘要	対象者		算出方法	目標数量
災害用不織布毛布	枚	6,400		避難者	全員 (100%)	3,400人×1枚	3,400
				市職員	全員 (100%)	500人×1枚	500
				帰宅困難者	全員 (100%)	2,500人×1枚	2,500
大人用おむつ	パック	200		避難者	要介護認定3～5の 居宅サービス者 (1.0%)	3,400人×1%×1パック(1人当たり)	200
乳幼児用おむつ	パック	600		避難者	0歳～2歳児 (2.3%)	3,400人×2.3%×1パック(1人当たり)	600
生理用品	パック	847		避難者	10歳～55歳女性 (24.9%)	3,400人×24.9%×1パック(1人当たり)	847
哺乳瓶(使い捨て哺乳瓶タイプ)	セット	72	1セットにつき5本 (1日1セット)	避難者	0歳の乳幼児 (0.7%)	3,400人×0.7%×1セット×3日	72
ワンタッチ組立式トイレ	組	24	45人当たり1セット	避難者	おむつ利用者を除く 避難者 (96.7%)	3,400人×96.7%÷45人 (必要数-50)	28
ラップ式トイレ	組	50	45人当たり1セット	避難者	おむつ利用者を除く 避難者 (96.7%)	3,400人×96.7%÷45人 (50箇所の指定避難所に)	46
トイレットペーパー	個	329	10人につき1個	避難者	おむつ利用者を除く 避難者 (96.7%)	3,400人×96.7%÷10人	329
簡易トイレ(凝固・衛生袋)	枚	19,728		避難者	-	3,400人×96.7%÷3,288人 3,288人×6回	19,728
タオル	枚	250		避難者	-	※状況に応じて必要な場所に 配備する	250
ハンドタオル	枚	550		避難者	-	※状況に応じて必要な場所に 配備する	550
非接触型体温計	本	50	各避難所	避難者	-	※状況に応じて必要な場所に 配備する	50
手指消毒液	本	100		避難者	-	※状況に応じて必要な場所に 配備する	100

(3) 資機材

品目	単位	摘要	算出方法	目標数量
投光器	台	バルーン式投光器	収容人数100名以上の避難所	70
発電機	台	インバーター式	収容人数100名以上の避難所	70
コードリール	台	30m	収容人数100名以上の避難所	115
リヤカー	台	ノーバンクタイプ	収容人数100名以上の避難所	36
車いす	台	ノーバンクタイプ	一般避難所50カ所	4
給水袋	枚	6ℓ用	断水人口14,600人分	1,500
土のう袋	枚		現状の保有量を維持	3,000
段ボール間仕切り(2畳)	セット	2畳	※状況に応じて必要な場所に配備する	7
段ボール間仕切り(1畳)	セット	1畳	※状況に応じて必要な場所に配備する	10
ブルーシート	枚	7.2m×7.2m	※状況に応じて必要な場所に配備する	15
マイルディシート	本	幅910mm長さ20m	※状況に応じて必要な場所に配備する	15
パーティション	式	ワンタッチ組立式 W2,100×D2,100×1,200 ナイロン210D防災抗菌加工	※状況に応じて必要な場所に配備する	540
プライベートルームテント	式	災害対策用 W2,100×D2,100×2,200 ナイロン210D防災抗菌加工	※状況に応じて必要な場所に配備する	70
簡易トイレテント	式	ワンタッチ組立式 W1,200×D1,200×1,900 ナイロン210D防災加工	※状況に応じて必要な場所に配備する	24
簡易ベッド	台	折り畳み式、沈み込み防止、抗菌・撥水加工	一般避難所50カ所	370
扇風機	台	業務用扇風機、①ファン(100cm以上)、角度調整機能付き、②ファン(45cm以上)、角度調整機能付き	一般避難所50カ所	100
防災倉庫	台	床面積9.3㎡以上10㎡未満、断熱構造、転倒防止、収納棚2段、文字入れ	一般避難所50カ所	50
蓄電池	台	リチウムイオン電池(日本製) 容量:900Wh、太陽光パネル付	一般避難所50カ所、災害拠点4カ所に整備	54
LED充電式スタンドライト	台	LEDスタンドライト、防じん・防滴IP63/64適用、照度1,150ルクス、付属品:リチウムイオンバッテリー14.4V×2個、専用充電器、専用ソフトツールバッグ	一般避難所(3次)26カ所及び消防団分団車庫等24カ所に整備	50

品目	単位	摘要	算出方法	目標数量
スポットクーラー	台	電源100V,周波数50/60Hz, 消費電力1230W,冷房能力2.5kw, 風量調整機能,伸縮可能排熱ダクト 及びドレン,エアフィルター, キャスター付き	一般避難所(3次)26カ所及び状況に応じて 必要な場所に配備する	30

※対象者の考え方は次表に示す通りである。

対象者の区分	全人口(A) ※H22国勢調査結果	対象者の人口(B)		割合 B/A=C
		人口	データの出典	
粉ミルクが必要な人、哺乳瓶が必要な人 ⇒0歳児	50,822	357	H22国勢調査	0.7%
大人用おむつが必要な人 ⇒要介護認定3～5の居宅サービス者	50,822	502	介護保険事業状況報告 (平成28年5月分)	1.0%
乳児用おむつが必要な人 ⇒0歳～2歳児	50,822	1,175	H22国勢調査	2.3%
生理用品が必要な人 ⇒10歳～55歳女性	50,822	12,639	H22国勢調査	24.9%
おむつ非利用者 ⇒大人用おむつが必要な人、乳児用おむつが必要な 人を除く避難者	50,822	49,145	H22国勢調査	96.7%

資料2 備蓄物資の現状

区分	品目	単位	現況備蓄量	備考
食糧	アルファ化米等	食	11,800	1箱50袋入
	防災食	食	1,500	1箱50袋入
	レトルト食品	食	2,700	1箱50袋入
	パンの缶詰、レトルトパン	食	6,352	1箱24個入、1箱50袋入
	米粉クッキー	個	2,016	1箱50入
	飲料水(2ℓ)	ℓ	3,960	2ℓ×1箱6本入
	飲料水(0.5ℓ)	ℓ	12,624	0.5ℓ×1箱12本入
生活用品	防災毛布	枚	6,350	1箱10枚入
	タオル	枚	0	災害時の物資の供給協力協定先からの調達
	ハンドタオル	枚	0	災害時の物資の供給協力協定先からの調達
	紙おむつ 大人用	枚	688	災害時の物資の供給協力協定先からの調達
	紙おむつ 乳幼児用	枚	1,328	災害時の物資の供給協力協定先からの調達
	非接触型体温計	本	50	
	手指消毒液	本	100	1ℓポンプ式

資機材	給水袋	枚	1,500	6ℓ用
	土のう袋	枚	2,000	
	段ボール間仕切り(2畳)	セット	7	
	段ボール間仕切り(1畳)	セット	10	
	簡易トイレ	式	24	
	簡易トイレ用手すり	セット	24	
	簡易トイレ用テント	張	24	
	トイレ処理袋セット	箱	51	1箱200枚入
	ラップ式トイレ	台	50	本体、手すりセット、バッテリー、DCケーブル
	ラップ式トイレ用テント	張	50	
	ラップ式トイレ消耗品	個	50	専用凝固剤50袋、フィルムロール、ウェットテッシュ
	簡易テント	張	24	
	パーティション	式	540	
	プライベートルーム	式	70	
	投光機	台	70	
	発電機	台	66	
	コードリール	台	115	
	リヤカー	台	36	
	車いす	台	4	
	簡易ベッド	台	370	
	扇風機	台	120	業務用大型20、大型100
	防災倉庫	台	23	
	かご台車	台	127	
	蓄電池	台	54	
LED充電式スタンドライト	台	50	避難所及び消防団分団車庫	
スポットクーラー	台	30	避難所及び状況に応じて必要な場所に配備	